



FANCL

正直品質。

麒麟ホールディングスおよびファンケルによる 資本業務提携について

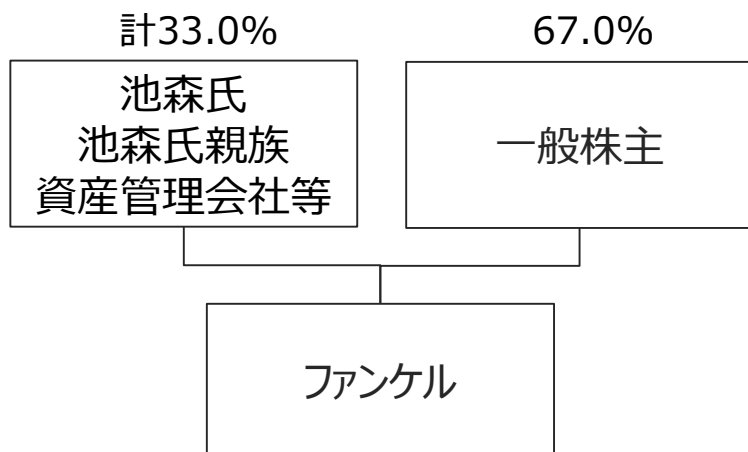
～社会課題の解決を通じて持続的な成長を目指す～

2019年8月6日
麒麟ホールディングス株式会社
株式会社ファンケル

- このたびキリンホールディングス（以下キリン）とファンケルは、資本業務提携契約を締結
- キリンはファンケルの株式を、ファンケル創業者である池森氏、その親族および資産管理会社等から譲り受ける
- 株式の取得総額は1,293億円、議決権割合は33.0%となる。
- 株式取得予定日は、2019年9月6日（予定）
- ファンケルはキリンの持分法適用会社となる予定

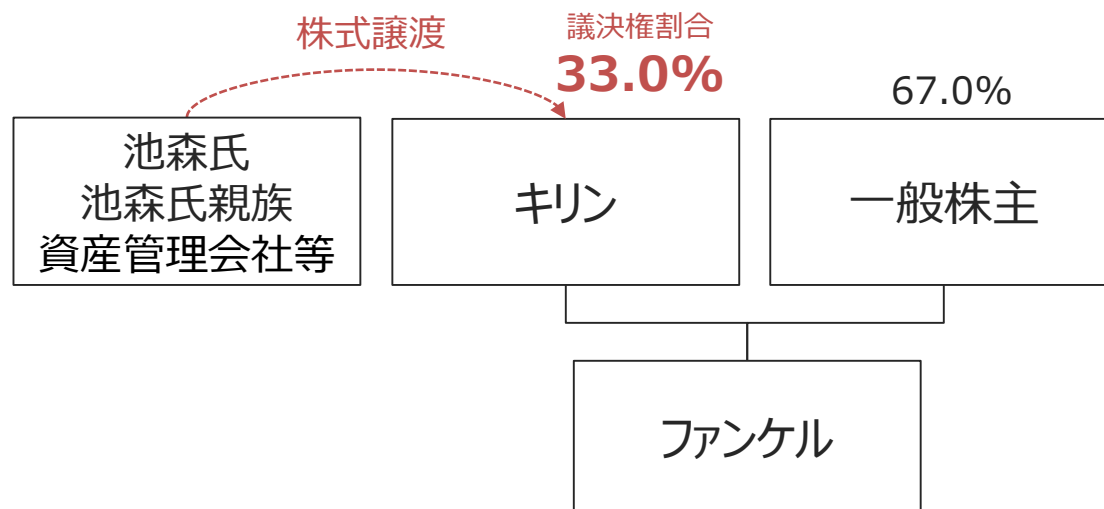
取引前

譲渡対象となる株式は、池森氏および池森氏の親族などがそれぞれ保有



取引後

キリンは、池森氏・池森氏親族・資産管理会社等と、それぞれ相対取引を行い株式を取得する予定



- 長期経営構想（KV2027）

「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる」

- CSVパーパス

CSV重点課題である「健康」の解決を通じて、「クオリティ・オブ・ライフの向上」「疾病の予防」を図るとともに、キリングループの長期にわたる持続的な成長につなげていく



- キリン独自のユニークな事業ポートフォリオのもと、長年にわたり「健康」の課題解決に取り組んできた



- 2019年-2021年中期経営計画

「食領域」と「医領域」の中間に、キリン独自の「医と食をつなぐ事業」を立ち上げ、育成する

→ グループ内再編により、協和発酵バイオを「医と食をつなぐ事業」の中核事業会社へ



- ファンケルは、「美」と「健康」を事業ドメインに、世の中の「不」の解消に取り組んできた

1980

池森賢二が
化粧品販売を
個人創業

1982

世界初の
無添加化粧品
を発売



初代の無添加
基礎化粧品

1994

サプリメント事業を
通信販売で
開始



発売当初の
サプリメント

1999

中央研究所
(現 総合研究所)
竣工



2015

機能性表示
食品「えんきん」
が大ヒット

2016

イノベーション研究
を推進する
「第二研究所」竣工



2017

中国健康食品事業の
展開に関し国薬国際
と代理店契約を締結

「VISION2030」

-世界中を、もっと美しく、ずっと健やかに-

2030年のファンケルグループは、
ベンチャーとして様々な事業領域に挑戦し、
それぞれの事業が、日本にとどまらず広く世界で、
より多くのお客様の美しく健康で豊かな生活を支え、
信頼され愛される企業集団となることを目指します。



目指す方向性

- 「健康」
 - クオリティ・オブ・ライフの向上
 - 疾病の予防



- 美しく健康で豊かな生活を支える
- 健康寿命の延伸

事業領域

- 「食領域」「医領域」
- 「医と食をつなぐ事業」



- 「美」と「健康」

強み

- ブランド（午後の紅茶、生茶など）
- R&D（発酵・培養・飲料製造）
- 素材（アミノ酸・免疫・脳機能など）
- チヤネル（自動販売機）



- ブランド（ファンケル、アテニアなど）
- R&D（無添加技術、製剤・加工技術）
- 素材活用（生活習慣対策サプリメント）
- チヤネル（店舗・ECでの直販）

社会課題の解決を通じて持続的な成長を目指す

- ファンケルは、**直販部門を持つ、研究開発型メーカーとして成長**

ファンケルの強み

研究開発力

- ・原料の調達から製造、容器にまでこだわった「無添加」化粧品
- ・サプリメントのパイオニアとして25年にわたる研究開発の蓄積。
機能性表示食品 サプリメント市場では、トップシェア

ファンケルの強み

販売チャネル

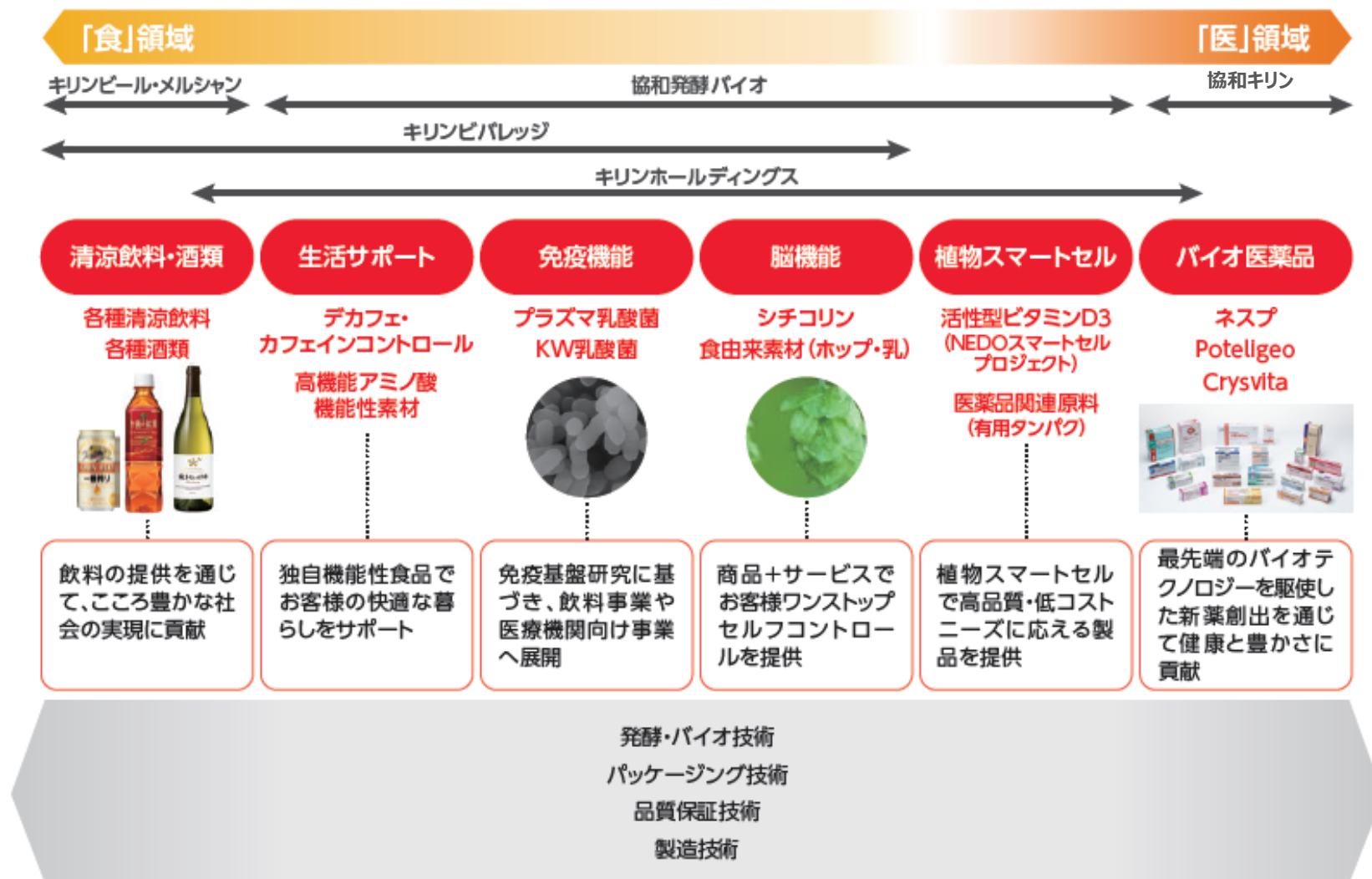
- ・通信販売、直営店舗販売、流通チャネルに広く展開
- ・通信販売、直営店舗販売が売上の7割以上を占める。
お客様とのきめ細やかなコミュニケーションを実現

ファンケルの強み

お客様との信頼

- ・1980年の創業以来、お客様との信頼づくりを大切に
- ・ファンケルブランドへの強い信頼と愛着を持って、
長く継続的にお付き合いいただいているお客様が多い

- 「食領域」・「医領域」で培ってきた**ブランド力・研究開発力**に加え、**独自性の高い素材**を多数保有



素材・商品・ブランド開発

「ブランド」と「技術」の融合

キリン

食から医に
わたる領域

×

ファンケル

美・健康

両社の「ブランド力」や「技術力」を活かし
新発想の商品やブランドを開発

独自素材を活かした商品開発

キリン

高機能アミノ酸
免疫・脳機能・腸内環境に
関する機能性素材

ファンケル

科学的根拠のある
独自素材

生活習慣対策サプリメント
アンチエイジングなどのスキンケア商品の開発

共同研究・事業開発の推進

- ✓ 「生活習慣病」、「脳機能」、「フレイル」、「リハビリ対策」、「免疫」、「腸内環境」などの分野で共同研究
- ✓ 酵母・発酵技術を活かした化粧品の開発など
- ✓ 新たなビジネスモデルの開発

インフラの相互利用

- ✓ 生産面での協業
- ✓ チャンネルの相互乗り入れ（キリンの自動販売機チャンネル、ファンケルの直販チャンネルなどの活用）

- 両社の強いブランド力に研究開発力を組み合わせ、お客様の美と健康に貢献できる、“飲料”、“食”、“スキンケア”などを幅広く提案していく。



紅茶市場No.1※1をはじめ
多彩なブランド群



クレンジング市場
シェアNo.1※2



機能性表示食品（サプリメント）
シェアNo.1※3

単独では実現できなかった、商品・研究シーズなどを組み合わせることで、
新たな価値創造（商品・ビジネスモデル）の実現に向けてスピード感を持って取り組む

※1 株式会社食品マーケティング研究所調べ（2018年出荷箱数実績）

※2 富士経済「化粧品マーケティング要覧2018」No.1 クレンジング（2017年実績）

※3 富士経済「H・Bフーズマーケティング便覧2019」No.3 機能性表示別市場分析編（2017年実績）

社名	キリンホールディングス株式会社 (証券コード:2503)
設立年月日	1907年2月23日
本社所在地	東京都中野区中野4-10-2
代表者	代表取締役社長 磯崎 功典
資本金	1,020億円
時価総額	2兆811億円 (2019年7月31日時点)

企業方針

経営理念・ミッション

キリングroupは、
自然と人を見つめるものづくりで、
「食と健康」の新たなよろこびを広げ、
こころ豊かな社会の実現に貢献します

2027年の目指す姿・ビジョン

2027年までに達成したいこと
食から医にわたる領域で価値を創造し、CSV先進企業となる

"One KIRIN" Values

キリングroupの一員として大切にしている考え方、気持ち

熱意・誠意・多様性 (Passion. Integrity. Diversity.)

熱意

自由な発想で、進んで新しい価値をお客様・社会に提案することへの我々の熱い意志。会社やブランドに誇りをもち、目標をやりきる熱い気持ち

誠意

ステークホルダーの皆さまのおかげでキリングroupは存在しているということへの感謝の気持ち。謙虚な気持ちで確かな価値を提供し、ステークホルダーに貢献するという誠実さ

多様性

個々の価値観や視点の違いを認め合い、尊重する気持ち。社内外を問わない建設的な議論により、「違い」が世界を変える力、より良い方法を生み出す力に変わるという信念

事業ポートフォリオ

その他
協和発酵バイオ、メルシャン
ミャンマーブルワリー、CCNNE
小岩井乳業など

医薬
協和キリン



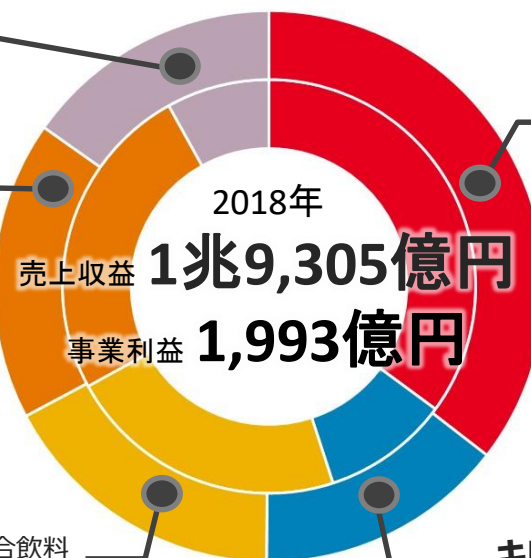
オセアニア総合飲料
ライオン



国内ビール・スピリッツ
キリンビール



国内飲料
キリンビバレッジ

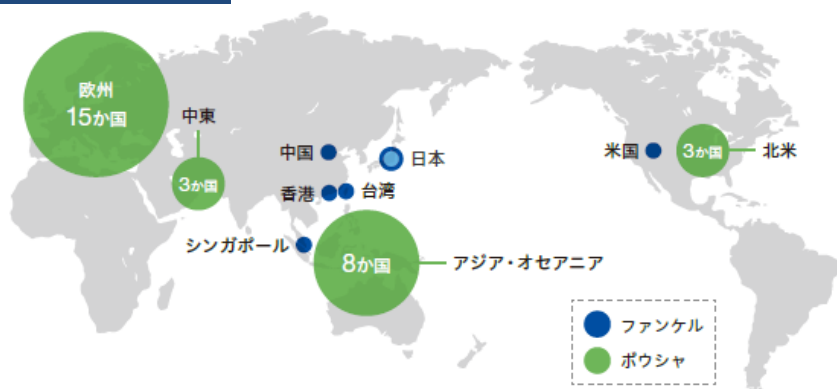


※円グラフは2018年末時点の事業セグメントに基づき作成されており、外円は売上収益、内円は事業利益の構成比を示しています。

※協和発酵バイオは、2019年第2四半期から「その他」事業セグメントに分類されています。

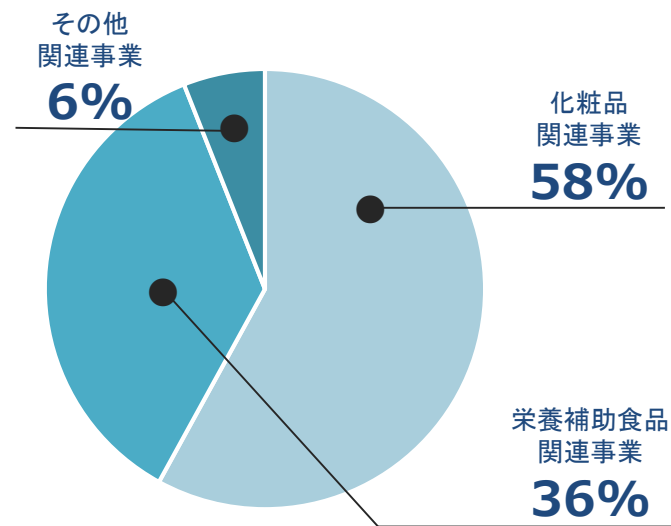
社名	株式会社ファンケル（証券コード:4921）
設立年月日	1981年8月18日
本社所在地	神奈川県横浜市中区山下町89-1
事業内容	化粧品・健康食品の研究開発、製造および販売
代表者	代表取締役 社長執行役員 CEO 島田 和幸
資本金	107億9,500万円
時価総額	3,303億円（2019年7月31日時点）
売上高	1,224億円（2018年度）
営業利益	123億円（2018年度）

グローバル展開



※ボウシャ：2002年にカリフォルニアで誕生した海外専用ブランド

事業別売上高

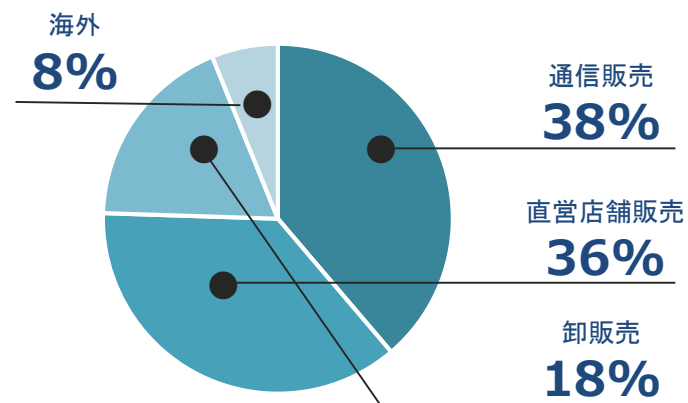


「ファンケル」「アテニア」等の化粧品



「カロリーミット」「内脂サポート」等のサプリメント類

チャネル別売上高



うちネット通販53%

ファンケル 204店
アテニア 17店

ドラッグストア、コンビニエンス
ストア、総合スーパー等